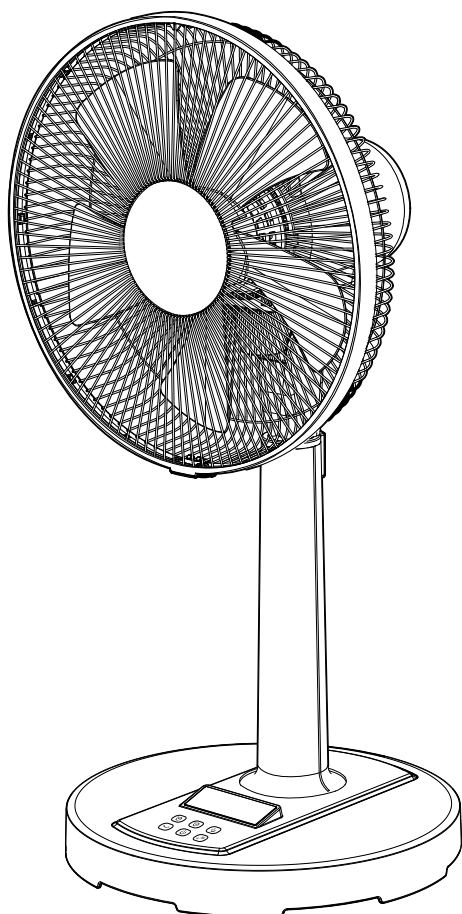


DCリモコン式リビング扇風機

NFLB-302D

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P1 ~ P2
各部の名称とはたらき	P3
組み立てかた	P4 ~ P6
正しい使いかた	P7 ~ P11
お手入れと保存	P12
修理・サービスを依頼する前に	P13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	P14
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	16W 50/60Hz
電源コード長さ	約 1.5 m
外形寸法	約 幅 35 × 奥行き 34 × 高さ 69~88 cm
質 量	約 2.7 kg

- 仕様などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「ACアダプターをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。 感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。		異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。		製品のお手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	前ガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店にご相談ください。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。		
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。自分で意思表示ができない人、自分で操作できない人は、使用しない・使用させない。 けが・感電の原因になります。		お手入れ後や組み立ての際、ガードをしっかりと固定する。 取り付けが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		リモコン用電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。	 指示	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。	 禁止	次のようなところでは使わない。 ●コンロなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。
	本体を移動させる際や、お手入れをおこなう際は電源プラグをコンセントから抜く。 感電・故障の原因になります。		風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	電源コードをベースで踏まないよう注意する。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。		ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になります。		首ふり動作中に無理に向きを変えない。 破損・故障・異音などの原因になります。
	スタンドの高さを調整する際は指をはさまないよう注意する。 けが・故障の原因になります。		ガードの中やモーター部に指などを入れない。 けがの原因になります。		首ふり運転中に手で首ふり角度の調節をしない。 無理に角度調節すると、故障の原因になります。
	リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液漏れや破裂の原因になります。		不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になります。		リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 破損・故障・異音などの原因になることがあります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。		リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液漏れや破裂・火災などの原因となります。

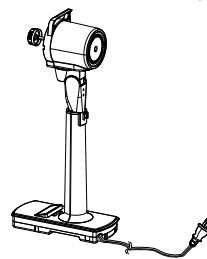
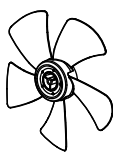
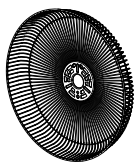
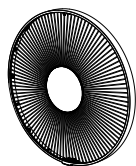
梱包部品一覧

※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品をおしまいになるときに必要ですので捨てないでください。

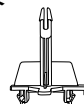
- 取扱説明書 (保証書含む) 1冊
- リモコン 1個
- コイン型リチウム電池 (CR2025) ... 1個

- 本体 (モーター部/スタンド/操作部) ... 1個

- 前ガード ... 1個
- 後ガード ... 1個
- 羽根 1個



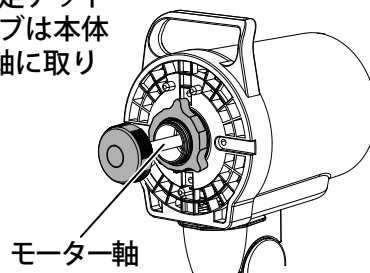
- ベース ... 1個
- スピナー ... 1個
- 後ガード固定 ナット ... 1個
- 梱包時羽根 固定具 ... 1個
- モーター軸 保護チューブ ... 1個



⚠ 注意

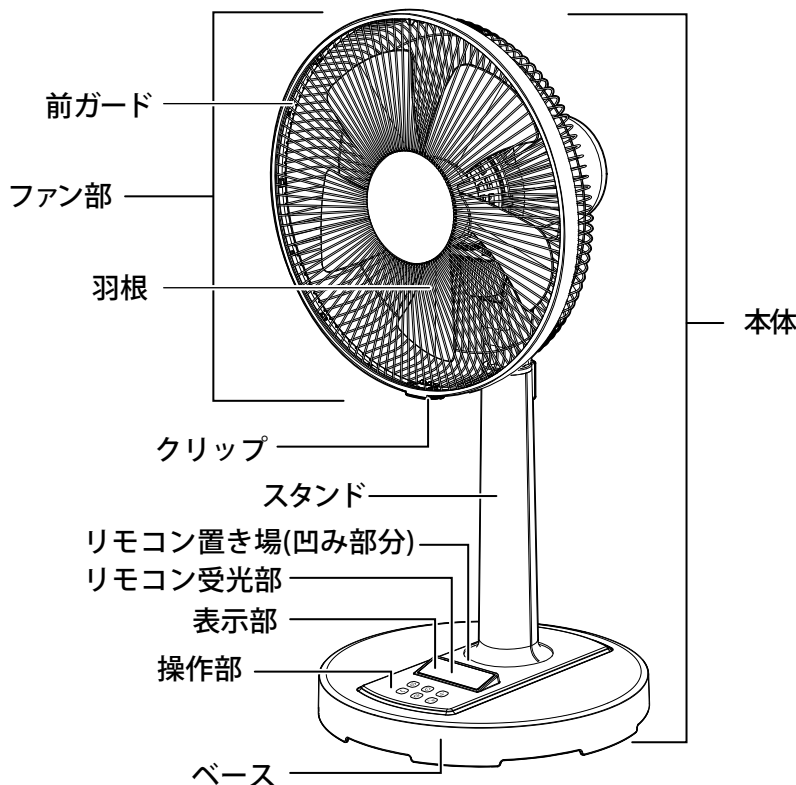
- 羽根やガードを取り付けずに、高さ調節ボタンを押さない。
モーター部が飛び上がることがあり、危険です。
- ガードや羽根をしっかりと固定してから電源プラグをコンセントに差し込む。

※スピナー/後ガード固定ナット/モーター軸保護チューブは本体モーター部のモーター軸に取り付けられています。

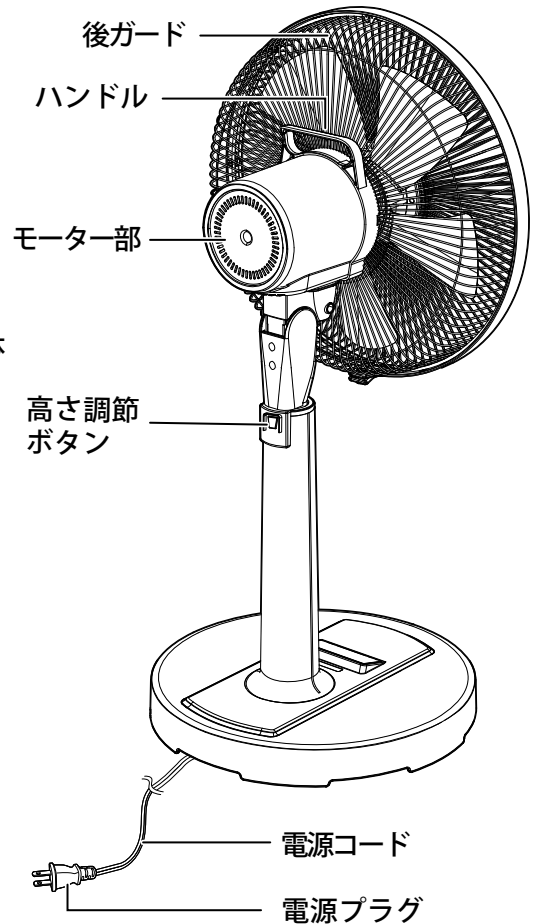


各部の名称とはたらき

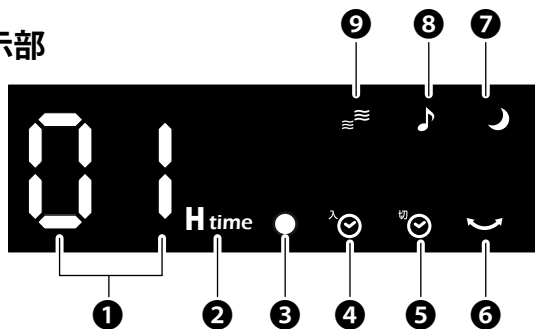
前面



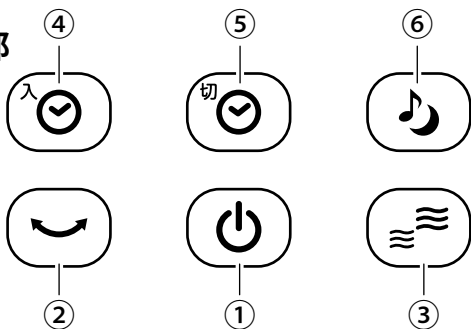
後面



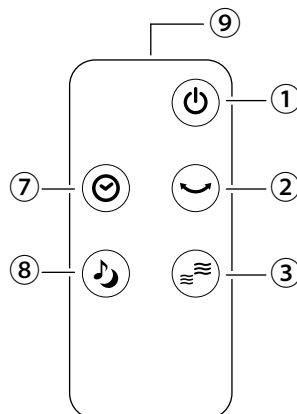
表示部



操作部



リモコン



- ① 風量/タイマー時間表示
風量/タイマーの時間などを表示します。
- ② タイマー表示
入/切タイマー設定時に点灯します。
- ③ 電源ランプ
電源プラグをコンセントに差し込むと点灯(緑色)します。
- ④ 入タイマーランプ
入タイマーを設定しているときに点灯します。

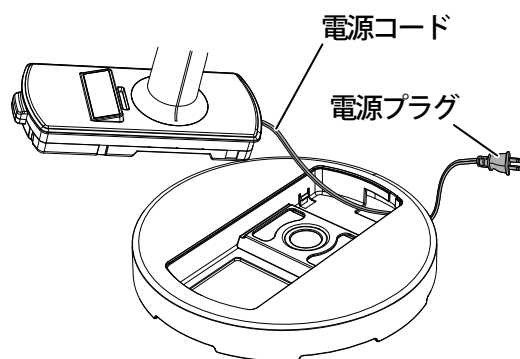
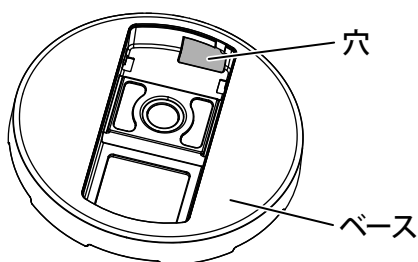
- ⑤ 切タイマーランプ
切タイマーを設定しているときに点灯します。
- ⑥ 左右首振りランプ
左右首振りしているときに点灯します。
- ⑦ おやすみ風モードランプ
おやすみ風のときに点灯します。
- ⑧ リズム風モードランプ
リズム風のときに点灯します。
- ⑨ 通常風モードランプ
通常風のときに点灯します。

- ① 電源ボタン(本体/リモコン)
運転の開始/停止をします。
- ② 左右首振りボタン(本体/リモコン)
左右首振りの開始/停止をします。
- ③ 風量ボタン(本体/リモコン)
風量の切り替えをします。
- ④ 入タイマーボタン(本体)
入タイマーの時間を設定します。
- ⑤ 切タイマーボタン(本体)
切タイマーの時間を設定します。
- ⑥ モードボタン(本体)
通常風/リズム風/おやすみ風の切り替えをします。
- ⑦ タイマーボタン(リモコン)
入/切タイマーの時間を設定します。
- ⑧ モードボタン(リモコン)
通常風/リズム風/おやすみ風の切り替えをします。
- ⑨ 送信部(リモコン)
本体の受光部に向けてください。

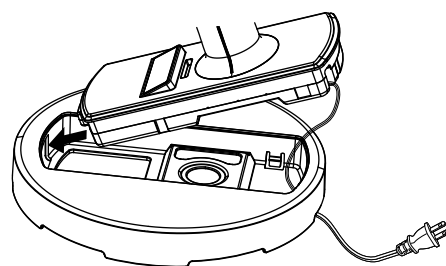
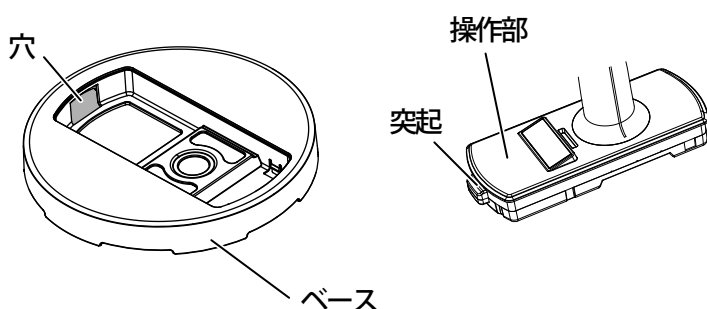
組み立てかた

1. ベースを取り付ける

1. スタンドから出ている電源プラグ / 電源コードをベースの穴に通す

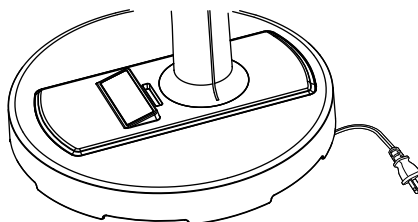
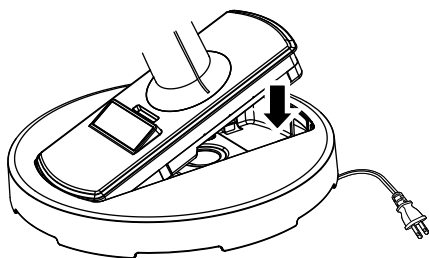


2. 操作部前方の突起をベース前方の穴にはめ込む

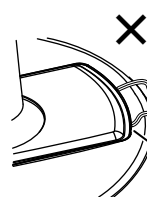


※操作部を前に傾けてはめ込んでください。

3. 操作部後方をベースにはめ込む



※電源コードをベースと操作部で挟まないように注意してください。

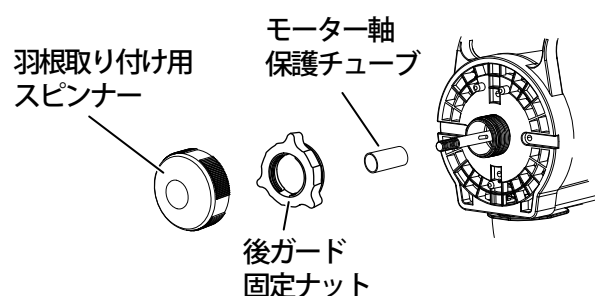


電源コードが挟まっている

2. 後ガードを取り付ける

1. 梱包状態では、後ガード固定ナット、羽根取り付け用スピナー、モーター軸保護チューブがモーター軸に取り付けられているため、取りはずす

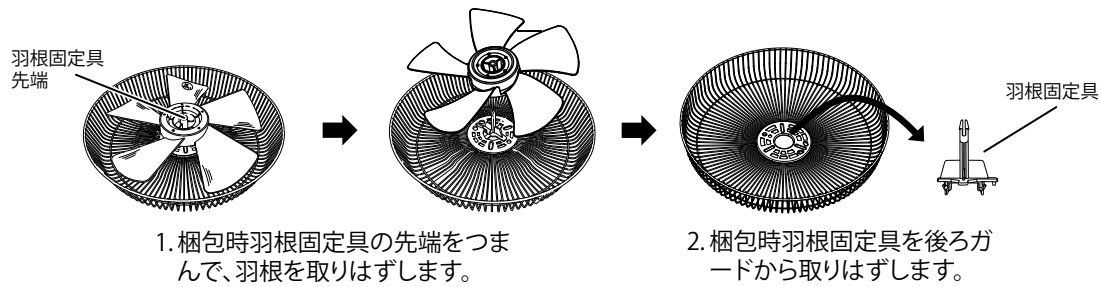
※モーター軸保護チューブは、シーズン終了後、製品をおしまいになるときに必要ですので捨てないでください。



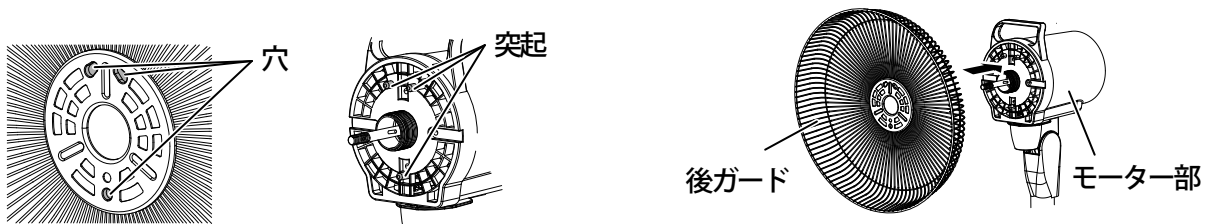
組み立てかた(つづき)

2. 後ガードに固定されている羽根と梱包時羽根固定具を取りはずす

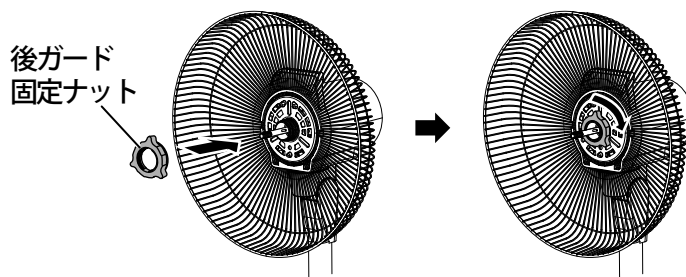
※梱包時羽根固定具は、シーズン終了後、製品をおしまいになるときに必要ですので捨てないでください。



3. 後ガードの穴をモーター部の突起に差し込む(3か所)



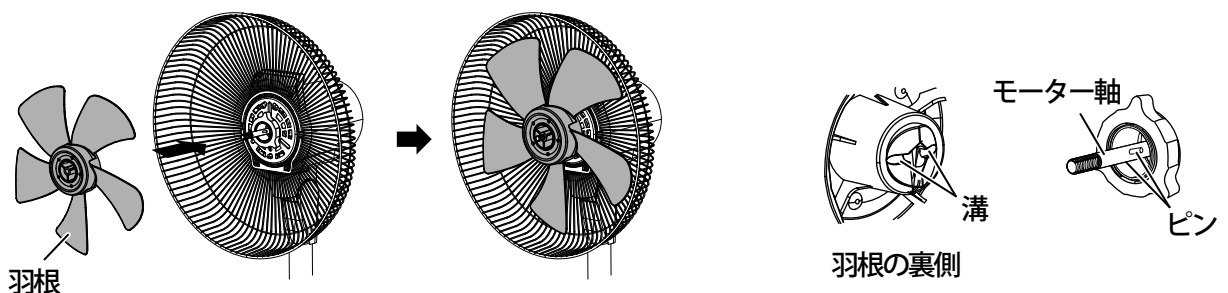
4. 後ガード固定ナットを時計回りに回して締め付ける



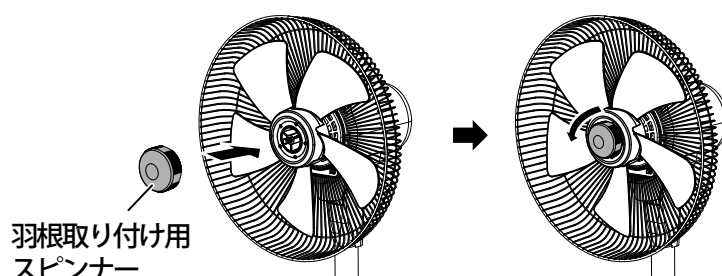
⚠ 注意 後ガード固定ナットは最後までしっかりと締め付ける。
事故・故障の原因になります。

3. 羽根を取り付ける

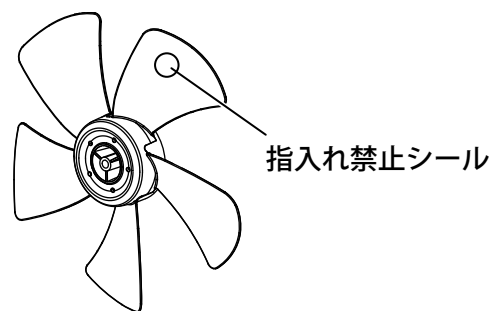
1. 羽根をモーター軸に差し込み、羽根の裏側の溝とモーター軸のピンを合わせる



2. 羽根取り付け用スピナーを反時計回りに回して締め付ける

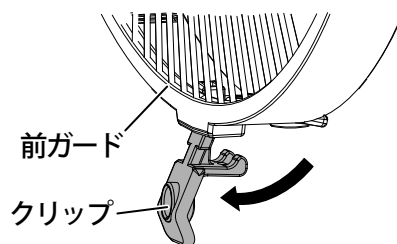


⚠ 注意	- 羽根取り付け用スピナーは最後までしっかりと締め付ける。 - 事故・故障の原因になります。 - 羽根に貼り付けてあるシールは法律で定められている指入れ禁止シールなので、はがさないでください。
--------------------	--

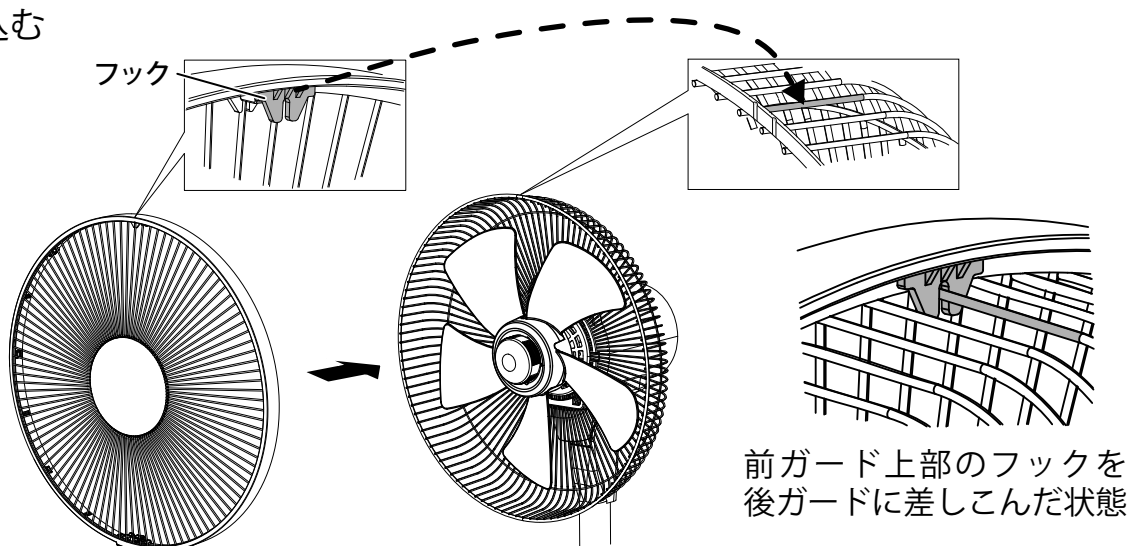


4. 前ガードを取り付ける

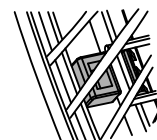
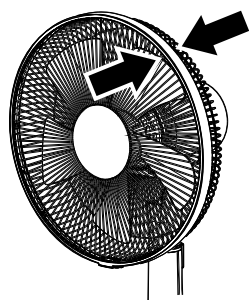
1. 前ガード下部のクリップをひらく



2. 前ガード上部のフックを後ガードに差し込む

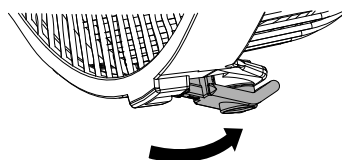


3. 前/後ガードの周囲を上から順に押さえて前ガードのツメを後ガードにはめ込む



4. 前ガードのクリップを閉じる

⚠ 注意	前ガードは確実に取り付けてください。 事故・故障の原因になります。
--------------------	---



正しい使いかた

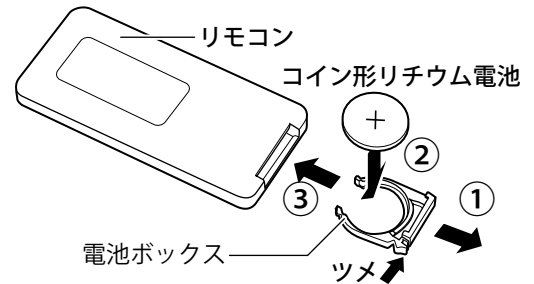
使用前の準備

リモコンに電池を入れる

下記の手順で付属のコイン型リチウム電池を入れてください。

1. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

- 電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。引き出しにくいときはツメをようじなどで内側に押しおくと引き出しやすくなります。



2. 電池の⊕ ⊖の向きに注意して電池ボックスにコイン形リチウム電池を取り付ける②

- 電池の⊕側を上にして取り付けてください。

3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

- 止まるまで差し込んでください。

⚠ 注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の⊕ ⊖は正しく入れる。故障や液漏れの原因になります。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・過熱などはしない。
- 液漏れが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

使用可能範囲

- 本体リモコン受光部正面から直線で約5m
- 本体リモコン受光部正面から左右に約30°
- リモコンと本体リモコン受光部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

運転を開始/停止する

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

“ピー”と音が鳴り表示部が点灯(約1秒)したのち電源ランプ以外は消灯します。

2. 運転を開始する

本体またはリモコンの電源ボタンを押してください。

- 電源プラグをコンセントにつないで初めての運転では、風量1・首振りなしで運転を開始します。
- それ以外のときは、前回運転を停止した風量・首振り状態で運転を開始します。(→メモリー運転機能)

減光モード

本体またはリモコンの操作をしてから約30秒経過すると、自動的に点灯・点滅しているデジタル表示・ランプが減光モードになります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、デジタル表示・ランプの明るさは通常に戻ります。

本体操作部



リモコン



メモリー機能運転

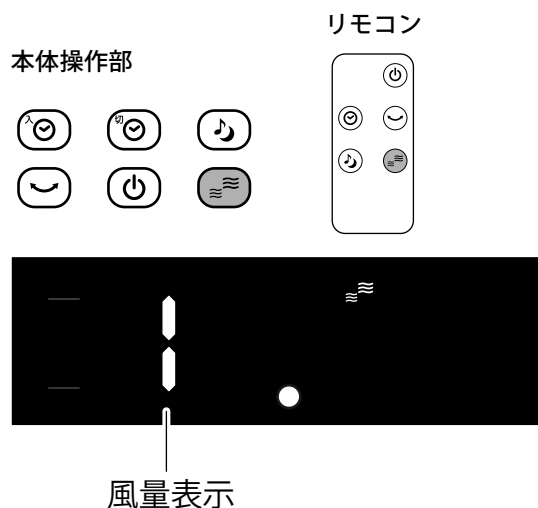
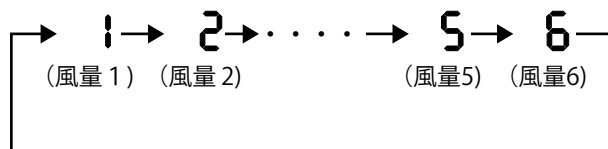
本体またはリモコンの電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます(風量・首振り・モード)。※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

[初期設定] 通常風モード、風量：1、首振り：なし。

3. 風量を調節する

風量は6段階設定することができます。本体またはリモコンの風量ボタンを押すごとに風量が切り替わります。

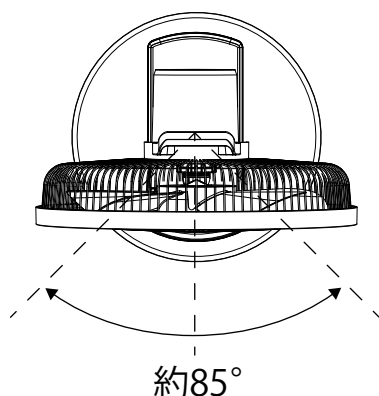
- ・本体またはリモコンの風量ボタンを押すごとに本体表示部の風量表示が切り替わり、風量が変化します。



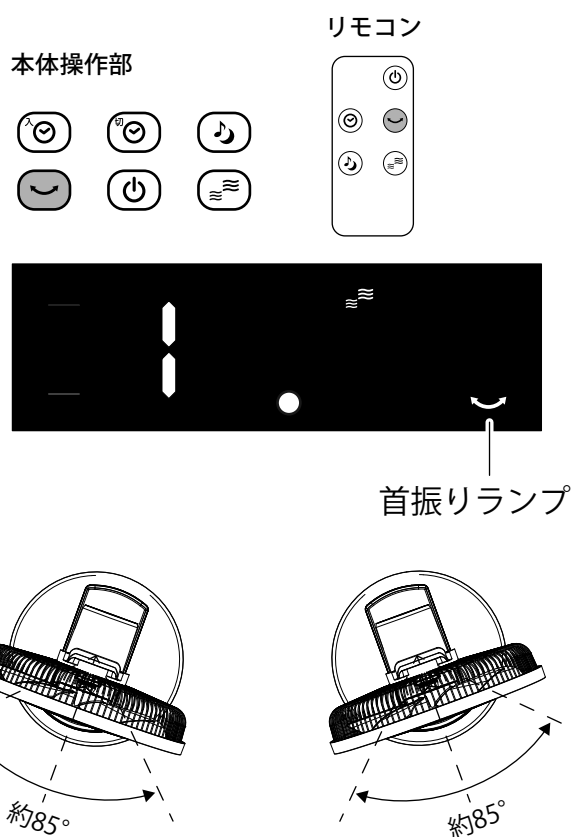
4. 首振りを設定する

運転中に本体またはリモコンの首振りボタンを押すと、左右に首振り運転を開始/停止します。

- ・首振り運転中は首振りランプが点灯します。



- ・手動で左右に向きを変えた場合、その位置を中心にして約85°の範囲で首振り運転を行ないます。



5. 運転を停止する

本体またはリモコンの電源ボタンを押してください。

6. 電源プラグをコンセントから抜く。



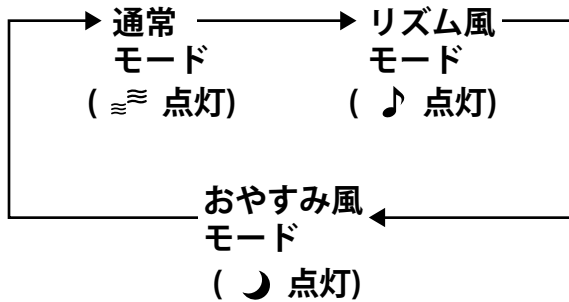
警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

正しい使いかた(つづき)

運転モードを選択する

運転中に本体またはリモコンのモードボタンを押すごとに運転モードが切り替わり、各モードのランプが点灯します。



リズム風モード/おやすみ風モードについて

リズム風モード (♪ 点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
風量ボタンを切り替えることで風量が変わります。

おやすみ風モード (☾ 点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。
風量ボタンを切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

- (風量6時) 風量6リズム風 → 風量5リズム風 → 風量4リズム風 → 風量3リズム風 → 風量2リズム風 → 風量1リズム風 と時間とともに変化します。
- (風量5時) 風量5リズム風 → 風量4リズム風 → 風量3リズム風 → 風量2リズム風 → 風量1リズム風 と時間とともに変化します。
- (風量4時) 風量4リズム風 → 風量3リズム風 → 風量2リズム風 → 風量1リズム風 と時間とともに変化します。
- (風量3時) 風量3リズム風 → 風量2リズム風 → 風量1リズム風 と時間とともに変化します。
- (風量2時) 風量2リズム風 → 風量1リズム風 と時間とともに変化します。
- (風量1時) 風量1リズム風 と同じです。

タイマーを設定する

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中に切タイマーボタンを押して切タイマーを設定する

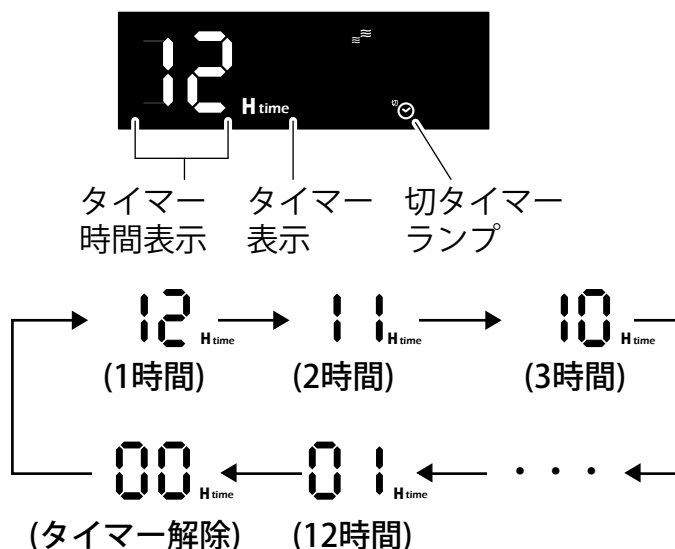
運転中に本体の切タイマーボタンまたはリモコンのタイマーボタンを押すと切タイマー表示が点灯します。

点灯中に再度ボタンを押すと、押すごとに数字が減ります。設定したいタイマー時間表示の数字が表示されたらボタンを押すのを止めることによりタイマーの時間を設定することができます。タイマー設定後、現在の風量とタイマー時間が交互に表示されます。

タイマー設定中でも風量を調整できます。

2. 切タイマーをキャンセルする

本体の切りタイマーボタンまたはリモコンのタイマーボタンを何度か押して 00 (タイマー解除) にします。



入タイマーの設定

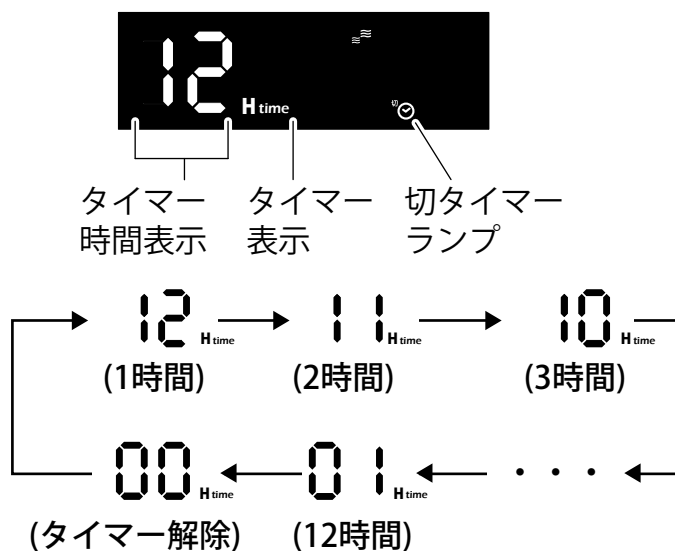
入タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を開始させることができます。

1. 運転が停止している状態で入タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体の入タイマーボタンまたはリモコンのタイマーボタンを押すと、入タイマー表示が点灯します。

点灯中に再度ボタンを押すと、押すごとに数字が減ります。設定したいタイマー時間表示の数字が表示されたらボタンを押すのを止めることによりタイマーの時間を設定することができます。タイマー設定後、現在の風量とタイマー時間が交互に表示されます。

- ・直前に使用していた風量表示が(首振りしていたときは首振りランプも)点灯します(「メモリー機能運転」→7ページ)。
- ・タイマー時間表示は入タイマーを設定したあと、入タイマーが作動するまでの時間を表示します。



正しい使いかた(つづき)

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

- ・ 本体またはリモコンの風量ボタンを押して設定した時間に運転する風量を設定します。
- ・ 本体またはリモコンの首振りボタンを押して設定した時間に首振り運転を開始するよう設定します。
- ・ 本体またはリモコンのモードボタンを押して設定した時間に運転を開始する運転モードを設定します。

3. 入タイマーをキャンセルする

本体の入タイマーボタンまたはリモコンのタイマーボタンを何度か押して、**00** (タイマー解除) にします。

⚠ 注意

入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。
子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくる場所や、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

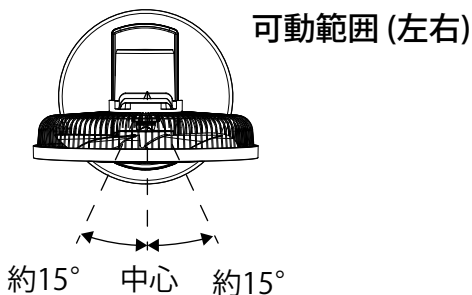
手動で向きを調節する

首振り運転解除後におこなってください。

・ 左右の向きを調節する

モーター部の後方を持ち、ゆっくりと左右に動かしてください。

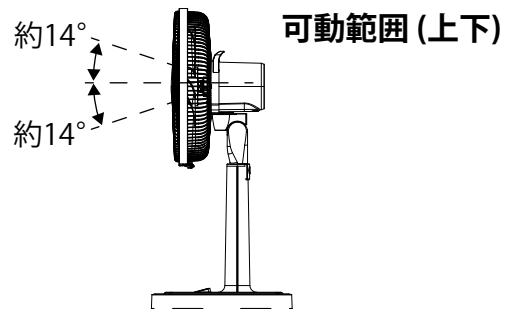
- ・ 左右に各約15°動かすことができます。



・ 上下の向きを調節する

スタンドを支えながら前ガード上部を持ち、ゆっくりと上下に動かしてください。

- ・ 上下に各約14°動かすことができます。



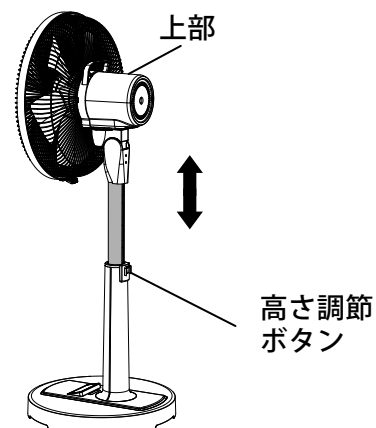
スタンドの高さを調節する

本機はスタンドの高さを変えることができます。

- ・ 高さ調節ボタンを押しながら、スタンドの上部を持って上にスライドさせます。
- ・ 高さを下げる場合は、高さ調節ボタンを押さずに下にスライドさせることができます。

⚠ 注意

- ・ 無理に可動範囲以上動かさない。破損・故障の原因になります。
- ・ 可動部に指をはさまないように注意する、。けが・故障の原因になります。



お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因となります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体・電源プラグに水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸して、かたくしぼった柔らかい布で拭きとり、さらに乾いた布でやさしくから拭きをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

羽根のお手入れ

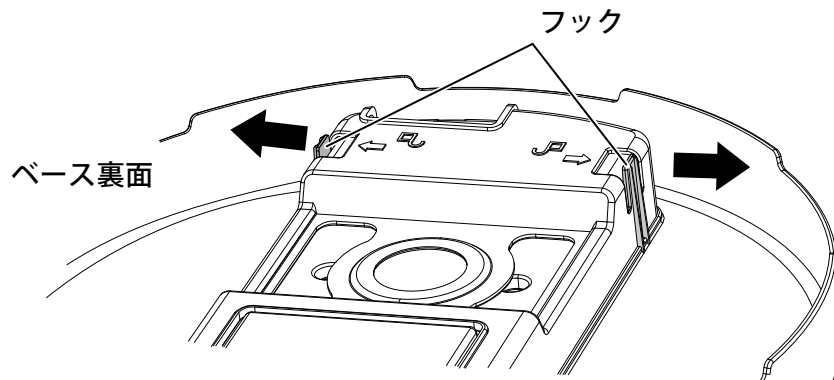
羽根のお手入れは、前ガードを取りはずして行ないます。

取りはずしかたは、「組み立てかた」と逆の手順で行なってください。

保存のしかた

- ・お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ・ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。
- ・お買い上げの商品が入っていた箱に入れて保存する場合は、「組み立てかた」と逆の手順で分解し保存してください。

※分解する場合はベース裏面のフックを外側に広げてスタンドを取りはずしてください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
羽根がまわらない	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	- 羽根が正しく取り付けられていない - 羽根がガードに当たっている	羽根やガードを正しく取り付け (5～7ページ)
突然運転が止まる	切タイマーが作動した	故障ではありません
突然運転が開始する	入タイマーが設定されていた	故障ではありません
異音がする	- 羽根が正しく取り付けられていない - 羽根がガードに当たっている - ガードが正しく取り付けられていない	羽根やガードを正しく取り付け (5～6ページ)
	羽根取付用スピナーがゆるんでいる	羽根取付用スピナーを締め付ける (5ページ)
首振り運転が左右どちらかに偏る	ファン部の中心位置が左右どちらかにずれている	首振り運転の中心を本体正面にする場合、手動でファン部の中心位置を調整する (11ページ)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	コイン型リチウム電池が逆に入っている	コイン型リチウム電池を正しく入れる
	- リモコン受光部に向けて操作していない - リモコン受光部にまでの距離が遠い	リモコンの送信部をリモコン受光部に向けて、使用可能範囲で操作する

長年ご使用の場合はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります) [設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは
保証書をお手元にご用意の
上お問い合わせください。

WEB
からの
お問い合わせ

ドウシシャお客様サポート



<https://www.doshisha.co.jp/support/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ** 
DOSHISHA Marché
ONLINE STORE 公式オンラインストアで
<https://www.doshisha-marche.jp/>

お電話から
お問い合わせ

☎0120-104-481

【受付時間】9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

**修理品
発送先**

ドウシシャ 〒915-0801
福井カスタマーセンター 福井県越前市家久町41-1
※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付ける
ことができません。